

エピソード

ラーメン屋さんを楽しんでいた子ども達は、メニューを増やすことにしました。Aくん「チャーハンつくろう」Bくん「じゃ米を探しにいこう」とした時、自分達が植えた米の横をたまたま通り、Bくん「米あるよ、これ使ってみよう」と、稲穂の所から数粒米を取りました。Aくん「硬い」と、米の固さに驚きながらも取ることを楽しんでいました。Aくん「この米を炊いたら食べれるよね？」と保育者に尋ねたため①「みんなが食べてる米と同じだよ」と答えると、Bくん「でもみんなの食べてる米って白いよ」と言ってじっと米粒を見ていました。同じように米粒を見ていたCちゃんが「洗えば白くなるよ」と言ったため、みんなは水の入ったタライに米粒をつけてみることにしました。Aくん「洗ったけど、茶色のままだよ」というと、Bくんが指先でぎゅっと米粒を押してみました。Bくん「皮がある!」と、もみに気付きそっと剥き始めました。中から白い米が出てくるとBくん「洗うんじゃないって、皮を剥くってことか!みんなにも教えてあげよう」とAくんと話していたので、遊びの後の話し合いで取り上げることにしました。

小さな米粒を書画カメラでテレビに映し、2人はみんなに米が皮を被っていると伝えました。すると、みんなは「剥いてみたい」と興味津々。みんなで一粒ずつもみを剥いてみました。「白い米が出てきた!」「米が服を着てたってことだね」など、米ともみ殻を分け、気付きを話していました。普段口にする米がどのようにでき、そのように白米になるのか、知ることができた機会となりました。

子どもの育ちや学び

この粒が米か!



洗ってみよう



皮が取れたよ



白くなったよ



- ・炊くと食べられるというのはわかっていましたが、硬さの違いに気付きました。(気付き)(驚き)
- ・生活経験から洗うと白くなるだろうと予想し、洗うことにしました。(予想)

- ・米粒を押すことで、もみに気付きました。(気付き)
- ・自分達の気付きを友達にも伝えたいという気持ちが出てきました。(知らせたい)

これは皮が剥けた米だよ



皮が剥けたよ



- ・書画カメラで映すことで、みんなも興味をもって友達の気付きを聞いていました。友達の気付きに興味をもち、実際に剥いてみることで『もみ』『もみがら』などを知ることができました。(興味)(知る)

保育者の思い

- ・普段自分達が食べている米のように白くするには、洗うということを生活経験の中から出てきていると感じました。しかし、実際にはもみを剥かないと白米にはならないということに、自分達が気付いてほしいという思いから子ども達が気付くまで見守るようにしました。
- ・気付きを友達にも知らせたいという気持ちを大切に、書画カメラを使うことで、みんなに伝わりやすいのではないかと思います、話し合いで書画カメラを用いて進めていくことにしました。
- ・『もみ』『もみがら』など触って確かめながら知ってほしいと思い、みんなでもみを剥く経験ができるようにしました。

家庭だったら・・・

家庭で米を炊く様子を子ども達は、見ているんだろうと感じました。しかし、白米と玄米の違いなど実際に子どもが触れることで知ること、様々な経験の中で、知識を増やしていく姿を大切にしたいですね。